

請願 第29号

受付 令和4年2月18日

国保税の引下げ、基金の公平な還付（還元）を求める請願書

紹介議員 小池 悦子

・請願趣旨

国民健康保険の目的は市民の健康を守ることです。その国保会計は毎年大幅な黒字で、基金として積み上げられてきました。2021年度は「コロナ禍」で受診控えなどの影響で、約16億円を含む国保基金は44億円（2021年9月議会）に積み上がることが明らかになりました。県内一過大に積み上げられた基金への関心と改善の必要性が、議会内の総意となり、議会が基金の内2021年度分の約16億円を被保険者へ還元することを市長に要請しました。市は2022・2023年度の2カ年にかけて被保険者への還元を約束し、具体的な方法については検討中です。

高すぎて払いきれない国保税の滞納者も増加し、その上「コロナ禍」による市民の健康悪化が進み、暮らしと営業が疲弊しています。そうした中、命と健康を守る取手市の国保制度や医療行政による支援や助成が強く求められます。

過大な国保基金は、市民の命と健康を守るために有効に活用することが取手市の責任でもあります。市民の負担軽減を図り暮らしを守ること、安心して医療が受けられる環境をつくることです。

以上のことから、下記の事項について求めるものです。

・請願事項

- 1 国民健康保険税の所得割税率と均等割額の引下げを行うこと
- 2 18歳以下の均等割は全額減免とすること
- 3 2021年度基金の一部（約16億円）の還付（還元）は公平に行うこと

以上、地方自治法第124条の規定により請願いたします。

令和4年2月18日

請願者代表

住所 取手市櫛木 463-13

氏名 取手地域社会保障推進協議会

代表 渡辺 昭七 ほか1,963人

取手市議会議長 殿